テキスト抜け、SSのトリミングや貼付位置の甘さがありますがご容赦願います。

FF14　備忘ログ(PATCH2.0)　サブクエスト

ザナラーン編

東ザナラーン

©2010－2014 SQUARE ENIX CO.,LTD.All Rights Reserved. FINAL FANTASY XIV

ギルドリーヴ開放「ドライボーン」

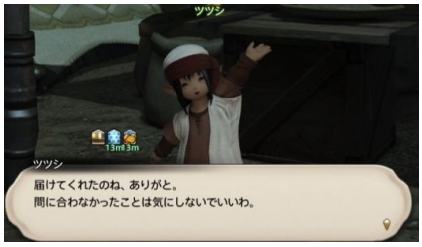
ポポナグ ： 仕事をお探しですか？　私はポポナグ。冒険者ギルドの一員です。
こちらでは、魔物討伐や物資の調達など「ドライボーン」周辺から寄せられた依頼をご紹介しております。
とはいえ、ここで扱っている依頼は、危険を伴う内容のものも多いのです。
まずはあなたの実力を確かめさせてください。
私が取り扱っている依頼をひとつお見せします。まずは、このリーヴをこなしていただけますか？
ありがとうございます。ゴブリンは「手まねき」してあげれば誘導することができますよ。よろしくお願いします。

ポポナグ ： あなたの働きぶり、素晴らしいものでした。安心してお仕事をお任せできそうです。
この集落は、東に棲むアマルジャ族など多くの危険にさらされています。あなたの力、頼りにしていますよ！

最後の晩餐

ツツシ ： あら、貴方も誰かを亡くしたの？　……って、なーんだ冒険者か。
冒険者ならちょっと東の平原に行ってでっかい「ミオトラグス・ナニー」から
「ミオトラグスのサーロイン」を5個とってきてくれない？
なんでも、死にかけの怪我人が、「分厚いサーロインステーキが食べたい」……って言ってるんですって。
「ミオトラグスのサーロイン」がとれたら、近くの宿屋にいる司祭のゾゾルに、届けてちょうだい！

ゾゾル ： お静かに……。何か、御用でしょうか。
これは「ミオトラグスのサーロイン」……。ありがとうございます、ツツシにも礼を伝えてください。
しかし……間に合いませんでした。先ほど、眠るようにお亡くなりに……。
ですが、落ち込まないでください。あなたが「最後の晩餐」のためにしてくれたことは、
必ずやザル神の御許に旅立った彼に伝わるはずです。



ツツシ ： 届けてくれたのね、ありがと。間に合わなかったことは気にしないでいいわ。
ここの集落はさ、近くに墓地があるせいで、死体だけじゃなくて、瀕死の人が運び込まれて
置き去りにされることがあるのよ。
彼の場合、親族が駆けつけてくれてたんでしょ？　看取ってもらえたんだから、まだ幸運な方よ。
さ、気を取り直して、墓石でも仕入れて商売しなくちゃ。

商魂たくましく

ツツシ ： さぁて、冒険者さん、まだまだ手伝ってもらうわよ。墓地近くの集落で、売れる商品って何だと思う？
そりゃ、やっぱり「お花」よねぇ。
ここから東にしばらく行ったところにある、大きなグゥーブーの亡骸の近くなら、植物が豊富よ。
霊災のときに山から降りてきたグゥーブーが、いろんな種を運んできたんでしょうね。
そこで「アルジクラベンダー」を3本取ってきてちょうだい。

ツツシ ： 「アルジクラベンダー」を3本、お願いね！
ありがとう！　うーん、やっぱりグゥーブーの周りで咲く花は色が鮮やかで綺麗ねえ♪
珍しい花のほうが死者も喜ぶからって、「アルジクラベンダー」は人気があるのよ。
ふっふっふ、お葬式があったら、張り切って売り込みに行かなきゃ！

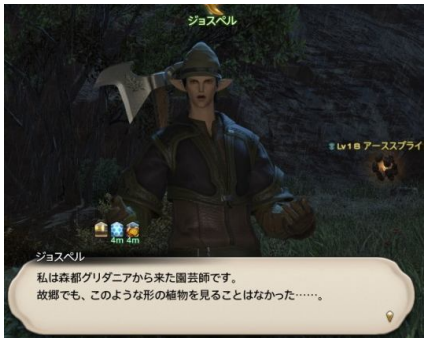
手入れはこまめに丁寧に

ジョスペル ： ああ……素晴らしい！　まさに至宝！　生命の神秘！！　……って、うわあっ！　人がいた？！
……こほん。グゥーブーを苗床にした珍しい植物に感動して我を忘れてしまいました。
しかし、こんなにも美しい植物たちなのに、ウルダハの人たちは誰も手入れをしていないようだ……。
植物を雑に扱うなんて、この園芸師ジョスペルが許さん！　手入れをするので、西の池から「濁った湧水」を
汲んできてくれませんか？

ジョスペル ： 西の池から「濁った湧水」を汲んできてくださいね。
ありがとうございます！　これで乾いた土に、潤いをもたらすことができます。
しかし、それだけではダメだ……　かなり「百蟲の卵」が付いているようです。
羽化したら葉を食べてしまう、すべて取り除いてください！

ジョスペル ： ありがとうございます！　うんうん、これで虫害は減るでしょう。
しかし、まだ草むらに潜んだサーフィド・クラウドがいます。元を断たねば、卵をまた産み付けられるでしょう！
これは、サーフィド・クラウドが嫌う「蜂漬けの毒酒」です。「怪しい草むら」に、これ使って虫をあぶり出し、
全て駆除してください！

ジョスペル ： ご協力ありがとうございます！　おかげで、植物たちも元気に育つでしょう！
私は森都グリダニアから来た園芸師です。故郷でも、このような形の植物を見ることはなかった……。
グゥーブーの死……それが新しい命に繋がる、……なんと美しい生命の姿なんでしょう。
戻ったらギルドマスターのフフチャ様にお伝えしなくては！



古びた供え物

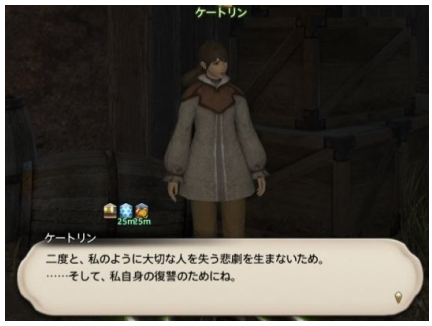
アイレル ： 聖アダマ・ランダマ教会へようこそ。私は司祭のアイレルと申します……。
参拝者の方……ではなく、冒険者なのですね。でしたら、墓地の手入れを手伝ってはくれませんか？
この教会は働く人数に比べて、管理するお墓の数があまりにも多いので私たちだけでは手入れが行き届かないのです……。
まずは墓場の「古びた供物」の片付けをお願いします。6個ほど拾っていただければ十分でしょう。

アイレル ： 「古びた供物」は回収できましたか？
ありがとうございます、手向けられた酒瓶も、いつかは片付けねばなりません。死者たちも、綺麗な場所で眠りたいはずですから。
他にもお願いしたいお仕事があります。もしお時間があるようなら、また声をかけてください。

忘れぬ恨み

ケートリン ： 冒険者さん、仕事を探しているのなら、モングレル退治を引き受けてくれませんか？
そうですね……7体ばかりでいいでしょう。
ヤツらは南東付近に、ウジ虫のように湧いています。付近の人々を襲う、意地汚い猛獣……慈悲は不要です。

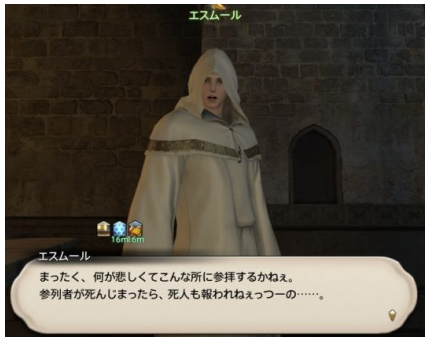
ケートリン ： モングレルを退治してくれたのですね、ありがとうございます……。
……私の婚約者は3年前、モングレルに殺されました。それからずーっと、ここを通る冒険者には必ず一度、
モングレルの討伐をお願いしているのです。
二度と、私のように大切な人を失う悲劇を生まないため。……そして、私自身の復讐のためにね。



死者の願い

エスムール ： ここまで来たついでだ、あんた、ハエ退治を手伝ってくれよ。
知ってのとおり、この辺りは墓だらけだ。死臭に誘われた「ブロウフライ・スウォーム」が
ブンブン飛び回って、邪魔で邪魔で仕方がねぇ。
ケッ、教会で死人が増えるなんてお笑い種だ。ともかく、群れを5つくらい始末してきてくれよな。

エスムール ： あー、ご苦労さん。ハエどものお陰で病気でも広まろうもんなら、葬式の参列者が、おっ死んじまうだろうに。
まったく、 何が悲しくてこんな所に参拝するかねぇ。参列者が死んじまったら、死人も報われねぇっつーの……。



貧者の花

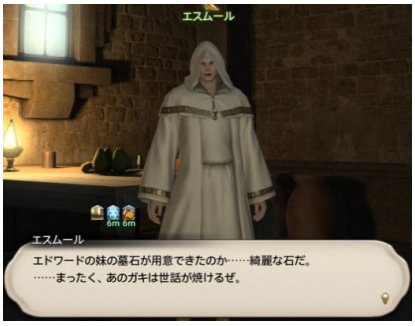
アイレル ： ありがとうございます……それではさっそく、「ニメーヤリリーの花束」を「貧者の墓」に供えてください。
縁者もいないらしく、花をたむける者もいないのです。
お花を供えていただきたい「貧者の墓」は5つあるのですが、裏手のお墓は見落としがちなので、気をつけてくださいね。

アイレル ： ご苦労さまでした……。これで死者の魂も、少しは慰められるでしょう。
……元々、この教会の墓地は小さな場所でした。しかし、5年前の大災害のときに多くの遺体を
収容したことがきっかけで、墓が何倍にも増えたのです。
ご覧のとおり、質素な墓地ではあるのですが、貧しき者から埋葬料を取るわけにもいかず、
しかし、今でも沢山の方々がご遺体を埋葬しに来られ、私たちは墓に花を供える暇もありません……。
貴方に花を供えて頂いたのは、身寄りのない方々のお墓。彼らは花束の香りに包まれ、孤独を一時忘れることでしょう。
……貴方の旅路に、ナルザル神のご加護があらんことを。

小さな墓石

エドワード ： なあ、あんた冒険者なんだろ？　俺……妹の墓を作りたいんだ。
でも、墓石を買うお金がなくて……。墓石になりそうな石が採れる場所の近くには、
危険な魔物がいて、俺は近寄るなって言われてるんだ。
墓石にする「白く輝く石」は、東の岩場にある。……石が取れたら、司祭のエスムールに渡してくれよ。

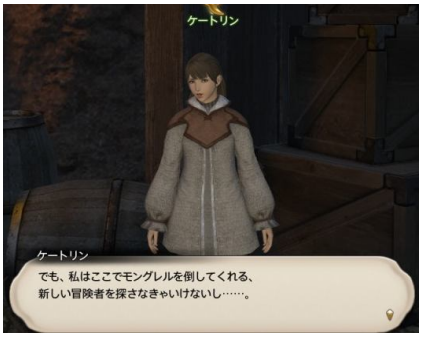
エスムール ： ……まだ何か用があるのか。
エドワードの妹の墓石が用意できたのか……綺麗な石だ。……まったく、あのガキは世話が焼けるぜ。
危険だっつーのに、自分で石を取ってこようとするからよ、俺らはあのガキを止めるのに、かなり苦労したんだぜ？
……エドワードの手伝いをしてくれて、ありがとよ。

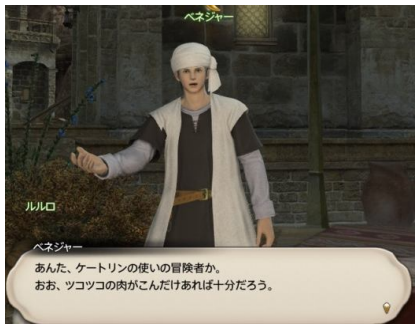


エドワード ： ……ありがと、冒険者って優しいんだな。あとは、ここで下働きをして、埋葬料を稼ぐだけだ。
へへ、自分でできることは、自分でしたいんだ。俺が頑張ったほうが、妹も喜ぶ気がしてさ。
エスムールもアイレルも優しいからさ、埋葬料はいらないって言われたんだけどな。
妹をザル神の所に送るためにも、俺頑張るよ。

ゴールドバザーの活気

ケートリン ： はあ……困ったわね。あら、あなたはこの間の冒険者さん。
ウフフ、今回はモングレルの討伐依頼じゃないわ。ゴールドバザーに住んでる、亡くなった彼の弟くんがね、
「ツコツコの肉」を届けてほしいんですって。
でも、私はここでモングレルを倒してくれる、新しい冒険者を探さなきゃいけないし……。
そこであなた！　代わりに「ツコツコ」から「ツコツコの肉」を取って、「ゴールドバザー」のベネジャー君に渡してくれない？





ベネジャー ： ケートリンに頼んだ「ツコツコの肉」はまだかなあ。そろそろ客がやってくる時間なんだが……。
あんた、ケートリンの使いの冒険者か。おお、ツコツコの肉がこんだけあれば十分だろう。
これはなぁ、街に霊銀鉱床目当てでやってきた採掘師にふるまうためのものだ。
奴ら質より量だから、安い肉が沢山欲しかったんだよ。
それにしてもケートリンはまだ、モングレルを倒す冒険者を探して、キャンプ・ドライボーンから動かないのか……。
そんなことしたって、兄貴は生き返らねぇって言ってるのになぁ。早く兄貴のことなんか忘れてほしいぜ……。

千の富も一枚から

ベネジャー ： あんた、ヒマがあるなら人集めを手伝ってくれよ。今はゴールドバザーに到来した久々の商機なんだ！
この近くに、優良な霊銀鉱床があるって噂でね！　ひと山当てようっていう採掘師たちが、
霊銀探しの拠点として、この集落を使い始めたのさ。
以前は小規模な市くらいしか見物がなかったが、これからは採掘師相手の宿屋が儲かるにちがいねぇ。
さっそくこの村に新しく宿屋を建てようと思うんだが、宣伝の仕方が悪いのか人が集まらねぇんだ。
そこで俺はこの「作業員募集のビラ」を作った！　こいつを5枚、街の「指定地点」に貼りだしてくれねぇか！

ベネジャー ： ありがとよお！　だが……まだまだだ！　俺はこのチャンスに全てを注ぎ込むつもりだからな！
今度は「作業員募集のビラ」を5枚、そのへんでぶらぶらしている連中に渡してほしい。
俺は他の仕事で忙しいから、代わりに頼んだぜ。

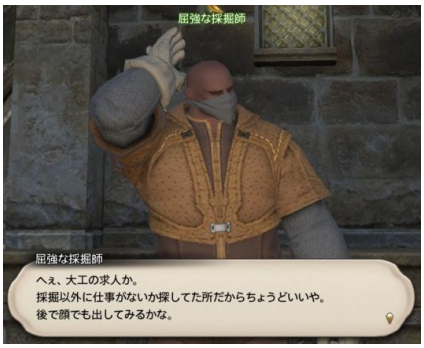
おしゃべりな婦人 ： なになに？　何配ってるの？
へえ～。ベネジャーさん、宿屋作るんだ。あれでしょ、村に来る客が増えてるんでしょ？
私も増えた客を見込んで食べ物の仕入れ量を増やそうかなあ。

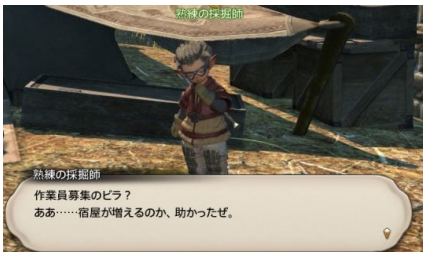
暇そうな住民 ： ふあ……ヒマだ。何かいい仕事はないかなあ……。
え？　ベネジャーさんが人手を欲しがってる？　ふうん、大工仕事なら得意だし行ってみるか。

日に焼けた婦人 ： 私に何か用？　今忙しいんだけど。
ベネジャーさんが、作業員募集ね。この街に来る採掘師が増えてきてたから、そのためかしら。
霊銀鉱床が近くにあるって噂だけど、本当かしらねえ……。

屈強な採掘師 ： 何か用かい？
へぇ、大工の求人か。採掘以外に仕事がないか探してた所だからちょうどいいや。後で顔でも出してみるかな。

熟練の採掘師 ： 何配ってるんだ？
作業員募集のビラ？　ああ……宿屋が増えるのか、助かったぜ。
近くにいい霊銀鉱床があるっていうんでこの街に来たんだが、宿がなくてテント生活だったんだ。
採掘が始まるまで宿屋づくりの手伝いでもしてるかな。



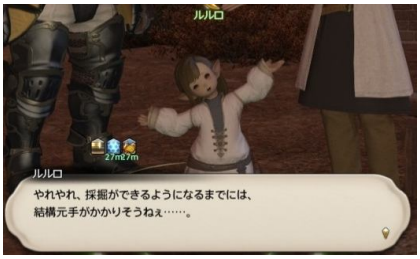


ベネジャー ： ご苦労さん！　さすがにこんだけやれば、人も集まるだろう！
兄貴が死んで、しょげてた時期もあったけどよ、俺は新しい商売を始めて、集落を盛り上げるんだ！

道を拓く刃

ルルロ ： 東にある遺跡で、採掘師が鉱脈調査をする予定だったのに、遺跡の近くのヴァンドロス・インプが怖いからって、
急遽調査を取りやめって言うの！
あなた代わりに行って、「ヴァンドロス・インプ」を倒してくれない？　そうね、4匹も倒せば近寄ってこなくなるでしょ。

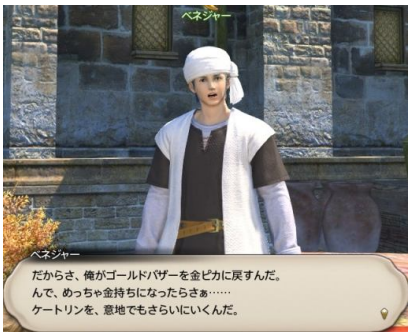
ルルロ ： さぁっすが冒険者ね！　おかげで採掘師を向かわせられるわーん！
鉱脈があるって噂だけど、魔物が出るからなかなか調査が進まないのよ。定期的に冒険者を雇って駆除しないとダメかもね。
やれやれ、採掘ができるようになるまでには、結構元手がかかりそうねぇ……。



輝け若者

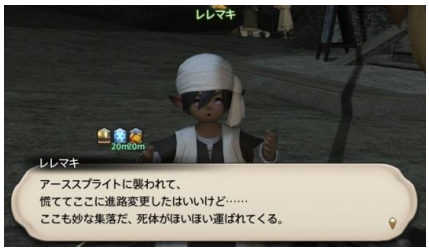
ベネジャー ： あんた、使える冒険者じゃねぇか。最近来た採掘師からの頼みがあるんだ、引き受けないか？
遺跡周辺の鉱脈の前調査のため、サンプルの石が必要らしい。「見えざる都」で「白く輝く石」を5個、拾ってきてくれよ！

ベネジャー ： ほお……これが噂の「白く輝く石」か。ムフフ、確かに僅かではあるが輝いている……　本当に霊銀が含まれているかもしれんな。
頼むぜ「白く輝く石」ちゃんよぉ。このゴールドバザーに客を呼び込むためにも、霊銀をたっぷり含んでいてくれよ……？
……実はさ、戦争でアラミゴとの陸路が断たれて以来、交易の中継地だったこの街の景気は、芳しくないんだ。
だからさ、俺がゴールドバザーを金ピカに戻すんだ。んで、めっちゃ金持ちになったらさぁ……
ケートリンを、意地でもさらいにいくんだ。
死んだ兄貴のことなんて、俺が忘れさせてやるんだ。……へへ、ケートリンには内緒にしてくれよ？



道を守る刃

ルルロ ： もう、どうして私の周りは問題ばっかり起きるの……。あなた、この間インプを倒してくれた冒険者ね、
また魔物を退治してくれない？
ある商人に新しい採掘道具を取り寄せたんだけど、黒衣森方面からの道中、アーススプライトに襲われて、
キャンプ・ドライボーンに逃げ込んだらしいの。
配達業者が安全に街道を通れるよう、「アーススプライト」を3体倒してきてちょうだい。
退治が終わったら、「キャンプ・ドライボーン」の「レレマキ」に
もう一度採掘道具を運ぶよう伝えてきて、頼んだわよ。



レレマキ ： ……ゴールドバザーのルルロの伝言か。ほ、本当にアーススプライトを倒したんだろうなぁ。
アーススプライトに襲われて、慌ててここに進路変更したはいいけど……
ここも妙な集落だ、死体がほいほい運ばれてくる。
チョコボちゃんに怪我が無いか確認したら、さっさとゴールドバザーに採掘道具を運ぶとするよ。

案山子におまかせ

クラウディエン ： 高いところは苦手だな……。いや、下を見なければ怖くないはずだ……　高くない、怖くない……うう、やっぱり怖い……。
わっ！　な、なんだ……驚かさないでくれよ！　まったく、あの鳥たちだけでも大変なのに……。
あいつらのおかげで、遺跡の調査がちっとも進まないんだ。
そうだ、あの鳥たちを追い払ってくれないかな？　この「手製のカカシ」を、4つほど仕掛けてくれればいいんだ。

クラウディエン ： いやあ、おかげで調査を進められそうだよ。ありがとう、助かった。
あとは高所恐怖症を克服するだけか……。

空飛ぶ厄介者

ゴゴシュ ： この遺跡は、ベラフディア時代の大変貴重なものです。ナル・ザル教団も、歴史的価値を認めており、
私たち調査員を派遣しているのですが……。
対岸に「キャズム・バザード」が巣を作ったらしく、調査員が襲われる被害が出ているのです。
このままでは発掘調査どころではありません。
「キャズム・バザード」を退治していただけませんか？　4匹ほど懲らしめていただければ、
きっと別の場所に巣を移すでしょうから。

ゴゴシュ ： おかげで「キャズム・バザード」の数が減ってきたようです。これくらいであれば、発掘調査に支障はないでしょう。
ありがとうございました！

ハゲしい想い

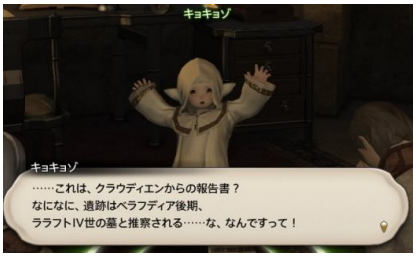
ヘルムハート ： おい、そこのあんた！　冒険者のあんただよ！　頼みがあるんだ！　「ファーブルの生血」を、3個ほど持ってきてくれないか！
「ファーブル」を倒せば手に入るはずだ！　頼む、大至急だッ！　今すぐ必要なんだ！
うおおおおおッ！　早くッ！　早くううううッ！！

ヘルムハート ： おい！　ファーブルの生血は手に入ったか？　早くしろッ！　早くッ！
うおおおおおッ！　ありがてえッ！　これだけあれば十分だ！　やっと集まったぜ！
よし、こいつをマゼマゼして……できたあああッ！！
さぁ、この「フサフサトニック」を、俺の頭にかけてくれッ！　何だあんた、あの「サラサの伝承」を知らねェのか！？
この薬はなぁ、最高級の毛生え薬なんだよ！！

ヘルムハート ： お、おおおおおおおお……！　キタキタキタキターーーーッ！！
これだよ、この頭皮が燃えあがるように熱い感覚ッ！　いかにも効果バツグンって感じじゃねえか！
この頭皮が脈打つ感じがたまらねえッ！　うおおおおおッ！　生えろッ！　早くううううッ！！

ザルの祠へ

クラウディエン ： この前はありがとう、おかげで少しは調査が進んだよ。だけど、古い遺跡だけあって傷みもひどくてね……。
今のままじゃ人手も物資も足りないんだ。
この報告書を「ザルの祠」に詰めている「キョキョゾ」司祭様に届けてもらえないかな？
良い調査結果を残せそうだから、無駄にはしたくないんだ。



キョキョゾ ： おや？　あなたは巡礼者……ではなく冒険者ですね？　道中、商神ナルザルの加護がございますよう……。
……これは、クラウディエンからの報告書？　なになに、遺跡はベラフディア後期、
ララフトIV世の墓と推察される……な、なんですって！
これは歴史的大発見です！　人手でも物資でも、いくらでも援助しましょう！　冒険者さん、ご苦労さまでした。

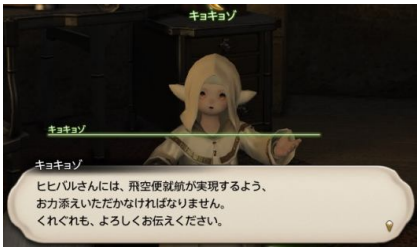
巡礼者に安らぎを

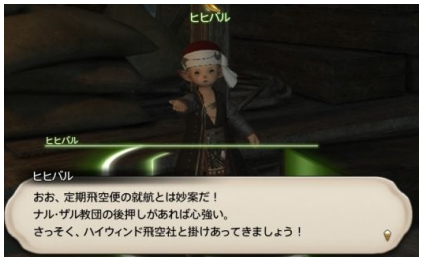
キョキョゾ ： この「ザルの祠」は、多くの巡礼者たちにとって欠かせない巡礼地のひとつである、とても大切な場所。
ですが、最近は増加する魔物や蛮族を恐れてか、巡礼者の足が遠のいています。
……冒険者さん、おカを貸してはいただけませんか？
せめて、この辺りだけでも安全に歩けるよう、祠の周辺に生息する「アクスビーク」を4匹ほど退治してほしいのです。

キョキョゾ ： 冒険者さん、ありがとうございました。これで巡礼者の方々も、安心してお参りできるでしょう。

ハイブリッジの希望

キョキョゾ ： 冒険者さん、いろいろお願いして申し訳ありませんが、この書状を「ハイブリッジ」の商人たちのまとめ役……
「ヒヒバル」さんに、届けていただけませんか？
これは、ハイウィンド飛空社への嘆願書。ウルダハ、ハイブリッジ間の定期飛空便を就航させてほしい旨を、書き記してあります。
定期飛空便さえ就航すれば、この祠を訪れる巡礼者の負担も、さぞかし軽くなりましょう。
ヒヒバルさんには、飛空便就航が実現するよう、おカ添えいただかなければなりません。
くれぐれも、よろしくお伝えください。



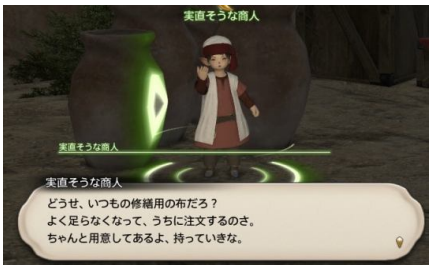


ヒヒバル ： おや、キョキョゾ司祭様からの書状ですかい？　……なになに、ハイウィンド飛空社宛の嘆願書？
おお、定期飛空便の就航とは妙案だ！　ナル・ザル教団の後押しがあれば心強い。
さっそく、ハイウィンド飛空社と掛けあってきましょう！
あとは、一日も早く蛮族問題が解決してくれれば、私らハイブリッジ商人としても、うれしいのですがねぇ。

法衣の修繕

デデジュ ： もぉ！　司祭さんに法衣の修繕を頼まれたのはいいけど、こうもボロボロだと、持ってきた布じゃ足りないわっ……。
あなた、ちょっと手伝ってよ！
「ブラックブラッシュ停留所」にいる商隊から、「質素な麻布」を受け取ってきて！
いい、中央ザナラーンよ？　急いでねっ！

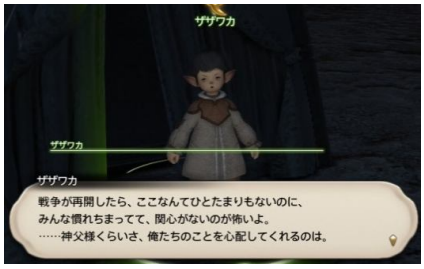
実直そうな商人 ： デデジュからの使いだって？　彼女、聖アダマ・ランダマ教会に行ってたのかい。
店にいないっていうから、どこに行ったのかと思えば……。
どうせ、いつもの修繕用の布だろ？　よく足らなくなって、うちに注文するのさ。
ちゃんと用意してあるよ、持っていきな。



デデジュ ： ねぇっ！　……頼んだもの、持ってきてくれたっ！？
ありがとう、助かったわっ！　さっそく直さなきゃっ。司祭さんがお出かけするまでに間に合うかしら……。
……そういえば少し前に、神父さんの依頼で、半分焼け焦げた服を仕立てなおしたことがあったわね。
あの大きさからすると、墓守の彼の服だったのかしら。

ロストホープの虫退治

イリュド ： まことに哀しいことですが、人死にが多くなると、その骸から不浄な虫が湧き、毒気を広めてしまいます。
そうなれば、流行病によって、さらなる犠牲者が……。
不衛生な「ロストホープ流民街」などでは、一歩間違えば、大勢の犠牲者を出しかねません。
流民の皆さんを護るために、ロストホープ流民街にいる「ザザワカ」さんに、
この「虫除けの香」を届けていただけませんか？



ザザワカ ： なんだい君は？　……へぇ、聖アダマ・ランダマ教会からの使いなのかい。
ああ、「虫除けの香」か。たしかに、イリュド神父から連絡を受けているよ。
わざわざ届けてもらって悪いねえ。助かるよ。
ついでに、この流民街の虫が湧きそうな場所に、撒いてきてくれると、もっと助かるよ。

ザザワカ ： 何から何まで、本当に助かったよ。去年は流行病で、多くの貧民が亡くなったからね。
神父様にも礼を言っておいてくれ。
そういえば、最近、帝国が妙な動きをしてるんだってな。こんな辺境の流民街でさえ、不穏な噂をよく耳にするよ。
戦争が再開したら、ここなんてひとたまりもないのに、みんな慣れちまってて、関心がないのが怖いよ。
……神父様くらいさ、俺たちのことを心配してくれるのは。

イリュド ： どうやら無事に届けられたようですね、感謝いたします。体を動かすことで、少しは辛い気持ちを解消できると思い、
こうやって依頼をさせていただいたのです。
流民街の方々の救済は、私たちの使命のひとつ。本当は、彼らに安住の地を探してさしあげることができれば
良いのですがね……。

グゥーブーは死して語る

バリン ： お墓に供える「アルジクラベンダー」を摘みにいった者が、魔物に襲われ大怪我を負ってしまいました。
遺族が危険な目に遭うなんて……死者も浮かばれません。
どうか、魔物を倒してきていただけませんか？　魔物が現れた場所は、ここより東にあるグゥーブーの亡骸付近です。

バリン ： 霊災や蛮神の被害で、あまりに多くの命が失われました。それは人だけではありません。
獣も植物も、皆、安住の地を失ったのです。
あの植物にのまれたグゥーブーもまた、霊災によって山岳地帯クルザスを追われ、この地で力尽きた個体。
森を抜ける際、身体にたくさんの種がついたのでしょう。やがて種が芽を出して、大地の一部になったのです。
そこで摘まれる花は、まさに霊災の悲劇の象徴……。
このエオルゼアの生きとし生けるものにとって、霊災はけっして忘れることのできない災厄……。
同時に、叶うのなら忘れてしまいたい悪夢でもあるのです。

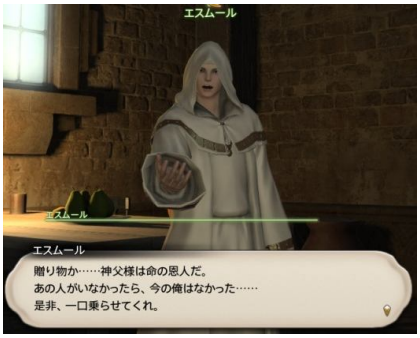
イリュド神父の好きなもの

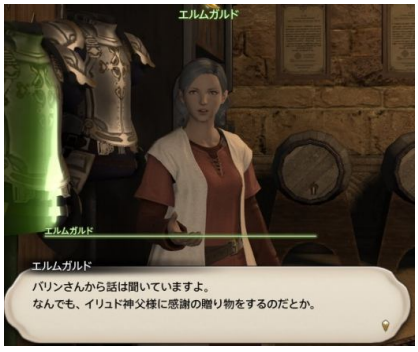
バリン ： いつもお世話になっているイリュド神父様へ、感謝の気持ちをこめて、贈り物をしたいんです。
しかし、残念なことに私のお金だけでは足りません……。
そこで、ほかの司祭様方から寄付を募っております。あと声をかけていないおふたり……
ゾゾル様とエスムール様にお声がけ願えませんか？
そして、寄付金が集まったら、キャンプ・ドライボーンの商店にいらっしゃる「エルムガルド」さんに
届けていただきたいのです。事情はお伝えしてありますので。

ゾゾル ： まあ！　もちろん、喜んでご協力しますよ。神父様は、とても質素な生活をされている方です。
きっと、贈り物を喜ばれることでしょう。

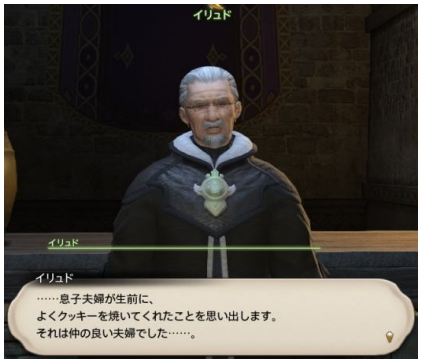
エスムール ： 贈り物か……神父様は命の恩人だ。あの人がいなかったら、今の俺はなかった……
是非、一口乗らせてくれ。

エルムガルド ： バリンさんから話は聞いていますよ。なんでも、イリュド神父様に感謝の贈り物をするのだとか。
……お代のほう、確かにいただきました。みなさんに感謝されるだなんて、神父様の人となりがよくわかります。
……これがご注文の「シナモンクッキー」です。神父様は、よく店先にあるクッキーを見ていらしたので、
実は、好物なのに違いありませんよ。
でも神父様のことだから、ご自分では召し上がらず、きっと孤児たちにお配りになるのでしょうね。
そんな方だからこそ、皆あの方を敬愛するのでしょうけど。





イリュド ： おや、冒険者さん。私に何かご用でしょうか？
……これは、なんて美味しそうなシナモンクッキーでしょう。甘い香りが安らぎをあたえてくれます。
……なんと、皆さんの贈り物ですって？　このような気遣いをされなくとも、私は十分に幸せですのに。
バリンさんたちに、お礼を言っておかねばなりませんね。
……息子夫婦が生前に、よくクッキーを焼いてくれたことを思い出します。それは仲の良い夫婦でした……。

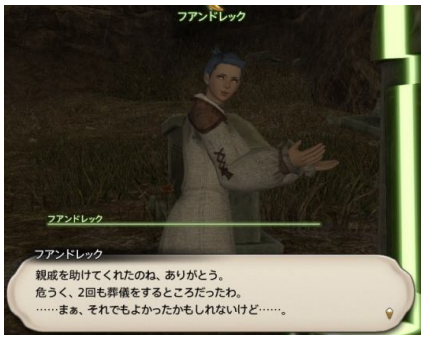


バリン ： 神父様は喜んでおられましたか？　……そうですか、お亡くなりになった息子さん夫婦を思い出して涙を……。
神父様は霊災で家族を失ったと聞いています。そんな境遇にも関わらず、人々を救っていらっしゃる。
私たちは神父様を、心の底から尊敬しています。

葬儀に遅れた参列者

フアンドレック ： 遅いわねぇ、まだかしら……。葬儀に参列する予定の親戚が、いつになっても来ないのよ。
……昔からいい加減で困ってるの。
探しに行きたいのは、やまやまなんだけど……。彼ってば「ハラタリ修練所」の近くを通ってくるらしいの。
ほら、あの辺りって魔物がたくさんでしょう？
……あなた、冒険者さんよねぇ？　私のかわりに、うちの親戚を探してきてくれないかしら？

いい加減そうな旅人 ： ありがとう、助かったよ……。見慣れない魔物に襲われて、もうだめかと……。
ハラタリ修練所の近くなんて、通るもんじゃないな。
おっと、ずいぶんと遅れてしまった。……ヤバイなぁ、フアンドレック、怒ってるよなぁ……。



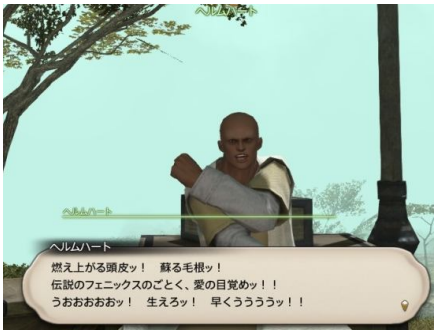
フアンドレック ： 親戚を助けてくれたのね、ありがとう。危うく、2回も葬儀をするところだったわ。
……まぁ、それでもよかったかもしれないけど……。

もっとハゲしい想い

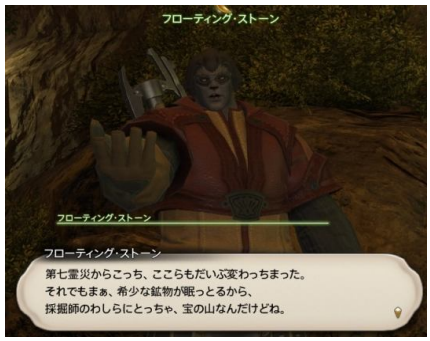
ヘルムハート ： くゥッ……はぁはぁ……。効かねェ、効かねェんだよおおッ！！　俺の頭はもう、刺激に慣れちまったんだよおお！！
あ、あんたは、あん時の冒険者じゃねぇか！！　また頼みがあるんだ！
この間の「フサフサトニック」をはるかに上回る、超・強力育毛促進物質！　その名も「ワサワサトニック」……ッ！
こいつを作るには「スナーブルの生血」が必要だッ！　「バーニングウォール」に棲む「ゴールデンフリース」を
倒せば手に入るはず！　早くッ！　早く採ってきてくれッ！

ヘルムハート ： くッ……俺はもう、駄目だ……　毛根が……毛根が……。
おお、それはスナーブルの生血！　アンタ、まるで救世主だぜ！　よし、さっそくマゼマゼして……できたあああッ！！
頼む、この「ワサワサトニック」を、俺の頭に……ッ！　早くッ！　早くブッかけてくれッ！　うおおおおおッ！！

ヘルムハート ： お、おおおおおおおお……！　キタキタキタキタキターーーーーーーーッ！！！
燃え上がる頭皮ッ！　蘇る毛根ッ！　伝説のフェニックスのごとく、愛の目覚めッ！！
うおおおおおッ！　生えろッ！　早くうううううッ！！



採掘師と変種のコブラン

フローティング・ストーン ： あんた「クォーツドブラン」って知っとるか？　このバーニングウォールにしか生息していない、
コブランの変種なんだがね。
ヤツら、豊富なクリスタルを食っているから、希少な「クリスタルクォーツ」を体に蓄えてやがるんだ。
わしの代わりに採ってきてもらえねえかね。

フローティング・ストーン ： どうだったね？　「クリスタルクォーツ」は採れたかね？
そうそう、これだよ。さすがに、いい色をしてやがるね。
第七霊災からこっち、ここらもだいぶ変わっちまった。それでもまぁ、希少な鉱物が眠っとるから、
採掘師のわしらにとっちゃ、宝の山なんだけどね。